

ワンコイン浸水センサ実証実験の参加者を公募します

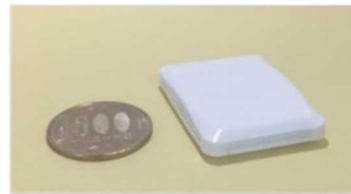
浸水の危険性がある地域にセンサを多数設置し、リアルタイムにその状況を把握する実証実験を実施します。

このたび、モデル地区において、実証実験に参加し、自らの施設等に浸水センサを設置、管理する企業や団体を公募します。

○目的

近年、大雨による浸水被害や河川の氾濫が頻発しており、面的に浸水の状況をいち早く把握し、迅速な災害対応を行うことが重要となっています。そのため、センサを用いてリアルタイムに浸水状況を把握する仕組みの構築に向けて、民間企業と国や自治体等の様々な関係者がセンサを実際に設置し、センサの特性や情報共有の有効性等を検証するものです。

浸水センサ例



※河川砂防技術研究開発公募で開発したセンサ

○モデル地区（5自治体）

- ・愛知県岡崎市
- ・兵庫県加古川市
- ・兵庫県南あわじ市
- ・徳島県美波町
- ・佐賀県神埼市

○公募内容

- （1）対象期間：令和4年3月18日（金）～ 3月31日（木）12時まで
- （2）対象者：浸水センサを自ら設置し、管理できる企業や、一般社団法人等の団体（共同体での参加も可能です）。
※詳細は、別添公募実施要領をご覧ください。

○公募説明会の開催について

- （1）開催日時 令和4年3月25日（金）15：00～
- （2）開催方法 WEB会議（Microsoft Teamsによるオンライン開催）
- （3）参加申込 公募実施要領に従い、メールで申し込みください。
（※切：令和4年3月24日（木）12：00まで）

【問合せ先】

国土交通省 水管理・国土保全局 河川計画課 河川情報企画室
企画専門官 大坪（内線 35392）、係長 向山（内線 35394）
代表 03-5253-8111 直通 03-5253-8446 FAX 03-5253-1602

浸水被害の把握

ヘリによる調査

リアルタイム性

- ・悪天候時に調査不可
- ・夜間調査不可



痕跡調査

機動力

- ・広範囲の調査不可
- ・多数の人材確保
- ・専門の技術者が必要



【既存の技術】

ワンコイン浸水センサ

センサの特徴

小型、長寿命かつ低コストで、堤防や流域内に多数の設置が可能な浸水センサ



※河川砂防技術研究開発公募で開発したセンサ

- ・小型
- ・低コスト
- ・長寿命

官民連携による浸水域把握イメージ

堤防の越水・決壊などの状況や、地域における浸水状況の速やかな把握のため、浸水センサを企業や地方自治体等との連携のもと設置し、情報を収集する仕組みを構築



【技術開発】

活用イメージ

【災害時】

- ・早期の人員配置
- （道路冠水による通行止め
避難所の開設 等）
- ・ポンプ車配置の検討

【復旧時】

- ・罹災証明（自治体等）の簡素化・迅速化
- ・保険の早期支払い
- ・災害復旧の早期対応

など

スケジュール

令和3年11月～

- ・実証実験準備会合を開催
- ・実証実験に向けてセンサの仕様や実施内容を検討・確定

令和4年3月～

- ・実証実験参加企業の公募

令和4年出水期～

- ・モデル自治体において、センサを設置し、実証実験を開始
- ・必要に応じ、エリアを拡大

（実証実験モデル自治体）

- 愛知県岡崎市
- 兵庫県加古川市
- 兵庫県南あわじ市
- 徳島県美波町
- 佐賀県神埼市